

(様式2)

令和 6 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570300564		
法人名	上越老人福祉協会		
事業所名	グループホームなかよし寿の家(2ユニット共通)		
所在地	新潟県上越市大字北新保55-3		
自己評価作成日	令和6年10月8日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1570300564-00&ServiceCd=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2
訪問調査日	令和6年11月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1. 車で2～3分圏内に母体施設である特別養護老人ホームいなほ園があり、医療・リハビリ・栄養など専門職からの助言や指導などの支援を受けることができる。日常の中では、備品や車両の貸出、施設周辺の整備や備品の修繕などにも協力がある。職員は、母体施設が組織・開催する委員会・会議などにメンバーとして参加し、情報収集や共有ができ、必要な研修への参加も行える。また、災害訓練や実際の災害時の協力体制も整っている。その他、法人内には特別養護老人ホーム3か所(うち1か所はサテライト型)、老人保健施設、グループホーム(3か所)、小規模多機能型居宅介護(2か所)、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所があり、それぞれとの協力体制がある。地域密着事業では、待機者管理や細かな情報交換等で連携している。

2. 精神科の協力病院が近隣にあり、認知症専門医による継続的な治療、観察が受けられ、認知症などの病状変化に伴う対応、ケア方法についての助言を受けながら支援に繋がられる。その結果、許容範囲の広い支援が行えている。また、施設内には認知症介護実践者研修及び指導者研修修了者の在籍と法人内基幹施設で勤務経験のある職員もあり、専門職不在の小規模施設であるが母体施設からの支援も含めてチームで検討しながら幅広い支援が提供できる。

3. 施設中央(ユニット中間)には、中庭があり畑や憩いの場として位置している。冬季を除いては、季節の野菜の栽培や収穫、収穫した野菜を日々の食事に取り入れるなど、ユニット共同で活動している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○職員の意見を反映した新たな事業所理念の作成と実践

現在の管理者は3年前に着任し、メンバーも入れ替わる中で理念の見直しが行われている。新しい理念は、全職員から「大事にしたい介護観のキーワード」を自由に出し合い作り上げたものである。職員は利用者一人ひとりのこだわりを大切に、気持ちに寄り添いながら理念の実現に向けて日々取り組んでいる。今回の職員2名の面談においても意識統一が図られていることや、利用者ケアに反映されていることが聞き取れた。これまでに積み上げてきた地域密着型サービス事業所としての経験を活かして、新たな理念の実現に向け、さらなるサービスの質の向上に取り組んでいくことが期待される事業所である。

○自然に恵まれた居心地の良い生活環境

事業所は木造の平屋建で、木材の素材をふんだんに使用した、柔らかく温かな雰囲気づくりである。両ユニットに挟まれた中庭には畑があり、一角に木製のテーブルが設置されている。気候の良い時には、利用者と一緒に洗濯物を干したり、お茶を飲みながらゆっくり過ごしたり、時にはバーベキューを楽しむなど、利用者の楽しみと憩いの場となっている。訪問時、畑には時節柄立派に育った大根や春菊が育っていた。収穫した野菜はアレンジして食卓に並び、利用者の生きがいや食べる喜びとなっている。

○法人組織としてのバックアップ体制

近隣には母体施設の特別養護老人ホームがあり、職員は母体施設が開催する委員会や会議などのメンバーとして参加し、情報収集や必要な研修等を行っている。また、精神科の協力病院も近隣にあり、認知症専門医の治療が継続的に受けることができる。母体の法人は、上越市内で多角的に福祉事業を展開している社会福祉法人であり、組織としての協力支援体制を確立している。待機者管理や細かな情報交換の連携が図られており、重度化や終末期の住み替えの選択肢もあり、利用者・家族の安心に繋がっている。